

5歳児 星組

2学期が始まり、畑にたくさん実った夏野菜も終わり、次に植える準備のためスコップで畑を耕したり畝をつくったりしながら、「次は何を植える?」「ニンジン」「ダイコン」などと話しながら、土づくりをしています。スコップで掘っていくと、土の中から幼虫が出てきて「この幼虫に目みたいな模様があるのはスズメに見つからないためやで」などと知っていることを友達に話しながら、大事そうに幼虫を飼育ケースに入れ育てています。また、幼虫がお散歩できるようにと、飼育ケースに木を入れるなど虫のことを思いながら工夫して幼虫の遊び場をつくるなど、友達と一緒につくることを楽しんでいます。

ほしぞら保育後には、友達と一緒に考えてつくった遊びを、異年齢児に知らせたいという思いをもち、かき氷屋さんになって年少児と関わって遊びを楽しむ姿が見られました。

リレーごっこでは、「走ることが楽しい」から、「競争で勝ちたい」と共通の目的に向かって友達と役割を分担したり力を合わせたりしながら楽しむようになってきています。その中で、ルールをつくったり守ったりすることの大切さを感じながら、遊びをつくっていくことができるように支えていきたいと思います。

「ほしぞら保育でカレーづくり」



う〜ん いいにおい

いろんな味のかき氷があるよ どれがいい?



「楽器をつくったよ」



♪ぶんぶんぶん
はちがとぶ

キーボードやスズ、タンブリンなどいろいろな楽器を使って遊ぶ経験から、今度は空き箱などの素材を組み合わせて自分だけの楽器をつくりました。友達と一緒に歌をうたしながら楽器の演奏を楽しんでいます。

「太鼓や鐘を叩いてお囃子をして遊んだよ」

せーの よーいよい



「いってきまーす」とはりきって、かき氷をお盆にのせ、年少組に出かけていき、集まってきた年少児にかき氷の味を説明する姿はさすが、年長組!

三つ編みやってみよう「布で三つ編みをしたよ」



元気いっばいの掛け声からお囃子が始まり、リズムや鳴らし方を友達と合わせようと声を掛け合いながら、繰り返し遊びを楽しんでいます。

沢山集めて年中組や年少組にも届けに行こう



園庭のイチョウの木の下に落ちている銀杏を見つけ、毎日、箸を使って集めながら、色や匂いなど、秋の自然を感じています。

「バトンをつないでリレーをするよ」



はい こっちこっち

始めはバトンを手に、繰り返し走ることを楽しんでいましたが、友達が増えてくると、待っている友達のところまで一生懸命走り、自分がもっていたバトンを託し、友達と同じチームの仲間ということ意識しています。